

(様式第2号)

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日: 令和6年7月1日

事業者名: ABLAZE BEAUTY SALON

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	ABLAZE BEAUTY SALONでは、事業において事務処理等のIT化を進める事によりエネルギーの無駄の削減、資源の無駄の削減に取り組んでおります。ITによるペーパーレス化やソフトウェアによる無駄な電力の自動カットなどによって資源・エネルギーの無駄を省き、環境問題に対して取り組んでおります。サロン内においても、一部電源を人感センサーによる電源自動カットソフトウェアを使用し、不使用時の電源カットによる電気エネルギーの無駄削減による環境へのSDGs活動を行っております。	⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに	2024年4月の事務所電気代金：13451円 ※電源自動カットソフトウェア導入前 2024年5月の事務所電気代金：10981円 ※電源自動カットソフトウェア導入後	指標	電力エネルギーの無駄の削減。
				目標	2030年までに、2024年度比で30%の削減を目標とする。
社会	美容と健康を意識した生活改善のサポート事業を開始。お客様の「健康な暮らし」のため、お客様との1対1の面談を通して日々の生活改善から運動・美容を徹底サポートする事により「3. すべての人に健康と福祉を」のSDGs活動を実施。また健康についての情報発信も行っております。情報発信の手段として、普段の生活から出来る健康的な生活方法や美容の知識についての情報提供としてのセミナーを開催しております。	③すべての人に健康と福祉を	美容・健康セミナーを2024年4月16日に開催。受講者3名。	指標	美容・健康セミナーの定期開催と参加人数
				目標	2030年までに、セミナーを月1回の定期開催とし、年間の参加目標数を30名とする。
経済	社内規定を社労士に依頼して規程。ABLAZE BEAUTY SALONで働く従業員にとって働きやすい環境として「プライベート休暇制度」と働きがいを感じてもらう為の「独立支援制度」を規定する事で「8. 働きがいも経済成長も」のSDGs活動を実施。	⑧働きがいも経済成長も	2024年4月から、社内規則を変更・記述化し、特別休暇制度を追加で設定。	指標	従業員の働き方の変更、ワークライフバランスの重視に伴う働きがいの満足度の上昇
				目標	半年に一度の従業員との面談において、ワークライフバランスへの意識と働く意欲に関する項目を追加。5段階の評価（1が最低5が最高）をしてもらい、平均4点以上を目標とする。
ガバナンス	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載> ■重点項目についてホームページへの記載と従業員への周知を行っております。 ■半年に1度の面談の際に重点項目のSDGs活動についてのヒアリングと意見交換・意識共有を行い、PDCAサイクルを回す仕組みとしています。			
	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 SDGsの取り組みについての特設ホームページ： https://design-p.com/ablaze/			